



対日理解促進交流プログラム ジェネシス JENESYS2019 小瀬高校生徒と楽しいひととき

対日理解促進交流プログラム ジェネシス JENESYS2019(主催：外務省)の一部が市内で実施されました。来市したのは、大洋州の国々の学生24人。小瀬高校を訪れ、生徒と音楽、美術、書道の授業をとおして交流を図りました。

交流した小瀬高校生徒からは「英語で説明するのが難しかった」「緊張した」など感想がありましたが、お互いすぐに打ち解けた様子で楽しい時間を過ごせたようでした。

(関連記事 P5)

主な内容

- P2 新年の挨拶
- P3 常陸大宮市2019年十大ニュース
- P4～5 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会
- P6～10 まちのできごと
- P12～13 青少年をたたえる集い



新年のご挨拶



常陸大宮市長
三次 真一郎

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこころからお慶び申し上げます。昨年は元号が「平成」から「令和」になり本県での開催が45年振りとなった、第74回国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体では、高円宮妃殿下をお迎えし、なぎなた競技会を開催しました。観客の皆様の大きな声援を受け本県が総合優勝、そして、本県選手団が天皇杯・皇后杯ともに1位を獲得した記憶に残る素晴らしい大会となりました。しかし、国体直後の10月12日、令和元年台風第19号の襲来により市内の久慈川、那珂川、緒川の流域に甚大な被害をもたらしました。地球温暖化の影響が世界的規模で現れるなど「天災は忘れたころに」ではない時代になったことを改めて痛感した激甚災害でした。さて、本年は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。本市は、パラオ共和国のホストタウンに認定されており、ホストタウン交流計画に基づき、市内小中学校の児童生徒との交流を行うなど、市全体で東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運醸成を図っております。今大会を契機として、発展的で継続的な文化交流を進め、教育や産業振興、市の情報発信などのさまざまな分野でのレガシー（競技大会後に残る有形無形の社会的遺産）となるよう取り組みを進めてまいります。また、少子高齢や人口減少対策を最重要課題として位置づけ、市の将来像を見据えた「第二期創生総合戦略」の策定を進めております。常陸大宮駅周辺整備事業や各支所を拠点とした周辺地域の活性化などの計画を着実に進め、「持続可能なまちづくり」と「地域をつなぎ安心して暮らし続けられる拠点づくり」を目指してまいります。市独自の子育て支援では、子育て世代包括支援センター「ぬくもり」を中心に、妊娠から子育てまで切れ目のない支援を展開しております。今後も市の宝である子供たち、保護者に寄り添い、なお一層子育てをしやすい環境づくりに力を入れてまいります。未来を担う子供たちへ「ふるさと常陸大宮」をつないでいくために、これまで進めてきた取り組みをさらに加速させることで、「人が輝き 安心・快適で活力と誇りあふれるまち」が実現されると考えています。結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸、そして実り多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げ新年の挨拶といたします。



常陸大宮市議会議員
淀川 茂樹

明けましておめでとうございます。令和2年の年頭にあたりまして、常陸大宮市の発展と市民の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。市民の皆様が、安心して暮らせるまちとなるよう本年も努力してまいります。そのためには、より開かれ、信頼される議会を目指し、市民の皆様の付託に応えてまいりたいと、改めて決意しております。昨年は、5月1日の第126代天皇の御即位に伴い「令和」の時代が幕を開けました。一年を振り返りますと、洪野日向子選手の全英女子オープンでの優勝や日本で開幕されましたラグビーワールドカップでの日本チームの躍進、また、リチウムイオン電池の開発者吉野彰博士のノーベル化学賞の受賞などがありました。本県におきましても、第74回国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体が開催され、茨城県が天皇杯・皇后杯を獲得、本市で開催されましたなぎなた競技会においても茨城県が総合優勝するなど明るい話題が多くありました。一方で、昨今の地球温暖化に伴う気象変動により、各地で災害に見舞われ、本市でも台風第19号により、多くの被害を受けました。被災されました皆様には、一日も早く普通の生活に戻ることができるようお祈り申し上げますと共に、議会としても、復旧復興に向けて全力で取り組んでまいります。さて、今年も東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。本市では、ホストタウンとしてパラオ共和国の選手団の受け入れを行いますが、市民で伴に祝い、一体となって取り組むことで更なる一体感が生まれることを願っております。昨今では、地方分権化の進展により、住民に身近な市の役割は益々重要となっております。本市政では、人口減少・少子高齢化への対応、中山間地域や中心市街地の活性化、地球温暖化防止に向けた環境対策、産業の振興など、課題が山積しております。このような課題を解決するため、市民の代表である市議会として、議員お互いが知恵を出し合い、執行機関とも連携を図り、互いに切磋琢磨しながら、市政発展のため、鋭意努力してまいります。結びに、本年が皆様にとりまして、実りある飛躍の年となりますよう、心からご祈念いたしますとともに、今後も一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。新年のあいさつといたします。





常陸大宮市2019年十大ニュース

2019年の本市の十大ニュースを市職員から募集し、105人から713件が集まりました。

※毎年行われる行事は除き、市域内の出来事を対象としています。

第1位

令和元年台風第19号による災害発生



第2位

いきいき茨城ゆめ国体2019なぎなた競技会開催



第3位

西塩子の回り舞台 舞台誕生から200年 第7回定期公演



第4位

御前山中学校が閉校し、明峰中学校に統合



第5位

地域公共交通の再編



第6位

パラオ共和国から研修生が来市



第7位

パラオ共和国柔道事前キャンプ実施 (柔道・レスリング)



第8位

三太の湯来館者 250万人達成



第9位

淡水魚館のオオサンショウウオ体長計測



第10位

大相撲常陸大宮場所開催



第10位

市制施行15周年





みんなで応援しよう！



東京オリンピックまで あと179日
(2020年1月27日現在)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

12/7

パラオ共和国独立25周年および日本・パラオ外交関係樹立25周年記念企画 「クッキングプロジェクト in Hitachiomiya」

市緒川総合センターで、「地元の食材を使って、パラオ料理を再現してお弁当を調理しよう！」と題し、常陸大宮高等学校、小瀬高等学校の生徒12人が市の食材とパラオ共和国の食文化を融合させたお弁当づくりにチャレンジしました。調理にあたって、駐日パラオ共和国大使館のフランス・マツタロウ特命全権大使や、ルーシー・マツタロウ大使夫人が、高校生にアドバイスをし、高校生たちはパラオの食文化について学びながら楽しそうに調理を進めていました。

調理後は試食を行い、マツタロウ大使からは「常陸大宮市の食材を使ってパラオの料理が上手に再現できている」とコメントがありました。調理した高校生は「難しかったけど、チームで協力して美味しいお弁当をつくることができました。いつか本場のパラオ料理を食べてみたい！」と話していました。

※本クッキングプロジェクトは、駐日パラオ共和国大使館で実施している「パラオ共和国独立25周年及び日本・パラオ外交関係樹立25周年記念事業」の一環として、東京2020大会のパラオ共和国ホストタウンである宮城県蔵王町と本市でホストタウン交流を促進するために実施したものです。



▲ルーシー・マツタロウ大使夫人と常陸大宮高校生



▲調理したお弁当（一部）

12/17 水戸啓明高等学校グローバルフロンティアコース生徒と交流

パラオ共和国研修生が水戸啓明高等学校を訪問し、英語に特化したグローバルフロンティアコースの生徒25人と交流しました。

水戸啓明高等学校とは、東京2020大会に向けたパラオオリンピック委員会柔道チームの事前キャンプを同校で2度練習をしたことが縁で、多文化共生への理解と国際交流の促進等を図りながら、本市とパラオに対する認知度の向上と東京2020大会への機運を醸成する目的で実施されました。

生徒と授業を一緒に受けた後、給食の時間には、パラオ語となった日本語の話題等で盛り上がり「アジダイジョーブ（おいしい）」と皆で言いながらの楽しい給食となりました。

その後、元青年海外協力隊（JICA）としてパラオに2年間派遣されていた本市東京オリパラ推進室の本多美月主事が「一歩踏み出す勇気とチャレンジする気持ち、たくさんの人との出会いが大切」と経験談や協力隊に参加したきっかけを語り、生徒たちの夢の後押しとなる講演をしました。啓明高校生徒との交流とおして、パラオや本市の取り組みなどを市外へも発信する機会となりました。



▲生徒と一緒に給食を楽しむシェナ



▲本多美月主事の情熱がこもった講演

12/13-14 【外務省事業】対日理解促進交流プログラム JENESYS(ジェネシス)2019を実施

東京2020大会に向けパラオ共和国のホストタウンである本市は、外務省事業対日理解促進プログラム「JENESYS2019(期間:12月10日～18日)」を13日と14日の2日間実施しました。この事業は、日本と大洋州の国々との将来を担う青年の交流をおして対日理解の促進を図るとともに、外交基盤を拡充することを目的として毎年実施されています。今回受け入れたのは、パラオ共和国・フィジー共和国・マーシャル諸島共和国・ミクロネシア連邦・サモア独立国・バヌアツ共和国の6か国24人の学生でした。

初日は、パラオ共和国研修生のケネリーさんとシェナさんから、ホストタウンの取り組みと本市紹介のほか今回の台風19号の被害状況などを英語で説明しました。その後、小瀬高等学校に会場を移し、「美術」「音楽」「書道」に分かれ1学年30人の生徒と授業をおした交流をしました。「美術」では、大洋州の国々の学生の出身国旗を砂絵で描き、「音楽」の授業は、慣れないギターにとまどいながらも生徒の指導で「ジングルベル」をみんなで演奏しました。「書道」の授業では、好きな英単語等を日本語に訳し、「海賊」「幸せ」「母」等の書を丁寧に書きました。授業終了後には、大洋州の国々の学生が感謝の踊りを披露するなどお互い大変有意義な交流となりました。交流後、ホストファミリー（協力:市国際交流協会会員・小瀬高等学校生徒ほか）と面会し、日本生活を身近に体感できる初めてのホームステイに胸躍らせながらホストファミリーとともに家に向かいました。

2日目の朝にはホストファミリーとのお別れ会が開かれ、大洋州の国々の学生にとってホストファミリーとのひと時は忘れられない思い出になったものと、皆の表情から受け取れました。お世話になった皆さんに、ミクロネシアの学生2人からは、ウクレレの音色にのせた澄んだ歌声のほか、フィジーやパラオ、バヌアツの現代的な踊りが披露されました。

別れを惜しみながら向かった西の内紙「紙のさと」では、色付けた和紙の原料を細い針金のついた棒ですくい上げ台紙にのせる絵付けの体験をしました。大洋州独特のカラフルな色使いの作品を手にした学生からは、「ヌルヌルした原料に驚いたが、とても楽しかった」「姉の誕生日プレゼントにしたい」と話すなど楽しんだ様子。本市伝統文化に触れることができました。体験後は、道の駅常陸大宮～かわプラザ～で、清流久慈川を眺めながらの地元野菜等を使った昼食を食べ、本市の魅力存分に味わった2日間となりました。

16日に江東区で開催された報告会では、「砂絵の授業体験が非常に面白かった」「初体験となるホームステイは日本文化や生活をよく知る機会であるため、もっと長くしてほしいかった」等の学生たちの感想が述べられました。彼らには帰国後、日本や本市での経験を家族や友人、大学等で積極的に広く伝えていく対外発信の効果が期待されています。



▲好きな言葉を書きました



▲出身国の国旗を砂絵で描きました(手前:バヌアツ 奥:サモア)



▲ホストファミリーと記念撮影



▲絵付け体験

台風第19号 義援金の状況

台風直後から現在まで、市内外の多くの皆さんから義援金が寄せられています。温かいご支援を誠にありがとうございます。

(1月1日現在)

■件数：134件 ■金額：10,439,904円



まちのできごと

11月

応急仮設住宅移動式木造住宅「ムービングハウス」を設置

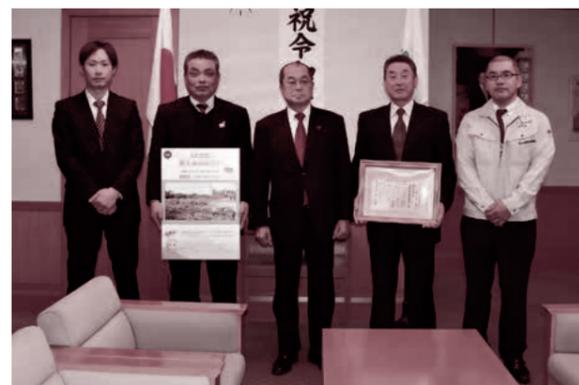
令和元年台風第19号による災害で自宅が被災した市民の皆さんに向け、大宮東部地区コミュニティセンター駐車場に応急仮設住宅として移動式木造住宅を設置しました。これは、従来のプレハブ型仮設住宅とは異なり、工場で組み立てたものをトラックで運ぶため短期間で設置できるのが特徴で、ムービングハウスと呼ばれています。本県内では初めての設置となりました。室内は、台所やお風呂、トイレ、ベッド、エアコン、電気オイルパネルヒーターが備え付けられ、結露防止に3重の窓ガラスとなっています。応急仮設住宅には最長で2年間居住が可能です、現在9世帯18人が入居しています。



▲正面から見たムービングハウス

12/3 ディスカバー農山漁村の宝に選定

総理大臣官邸で第6回「ディスカバー農山漁村の宝」選定証授与式が行われ、JA 常陸奥久慈支部会が選定証を授与されました。「ディスカバー農山漁村の宝」とは、強い農林水産業や美しい活力のある農山漁村の実現の為、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するもので、支部会の活動が高く評価されました。今後も、県北地域の代表として支部会の更なる活躍が期待されます。



▲おめでとうございます

12月 『水戸義公全集』が寄贈されました

公益財団法人徳川ミュージアム理事長で水戸徳川家15代ご当主の徳川斉正様より、貴重な書籍をご寄贈いただきました。水戸藩2代藩主徳川光圀（諡号義公）が詠んだ漢詩や和歌、折々に記した随筆や日記・書簡等をまとめ、1970年に出版された『水戸義公全集』全三巻です。多くの市民の皆さんが利用できるようにとご配慮から図書館の蔵書となり、どなたでも閲覧することができます。黄門様の著作にぜひ触れてみてください。



▲ぜひご覧ください

12/6

辻徹さんが文化庁長官賞を受賞

上檜沢地域に工房を構える木漆工芸家の辻徹さんが、漆の生産・精製に携わるとともに後進の育成にも努め、選定保存技術「日本産漆生産・精製」の保存・伝承に寄与し、文化財保護に多大な貢献をされていることが称えられ、令和元年文化庁長官表彰を受賞されました。

辻さんは、小学生の頃から自然素材でのモノ作りに興味があり、東京芸術大学および同大学院で本格的に漆芸を学んだ後、美和工芸ふれあいセンターの木工指導員となりました。大学時代から本市周辺が良質な漆の生産地と知っていたことから、必然的に漆との関わりを持ち始め、生産地ならではの環境を生かした漆掻きや漆の木への育成にも携わるようになったそうです。現在は、漆の育成生産精製作業から、作品となる原木の仕入れ、漆塗りの仕上げまで一貫した制作を行っています。

また、北海道出身の辻さんは、市内での暮らしについて「大変住みやすく物価も安い。すぐに海の幸、山の幸が手に入る。そして東京にも近い。都会

のように便利ではない生活のなか、その不便さを受け入れることで、制作の時には今日はこの仕事に取り組むと決めて、しっかりと腰を据えて集中することができる」と話していました。今後は、自身の活動とおして漆や漆器の良さを知ってもらうだけでなく、より多くの人に日常の食器などとして使ってもらうことが目標だそうです。



▲漆の木の畑を背景に辻徹さん

12/18.25

市内企業と常陽銀行が寄贈

市内にある2企業と常陽銀行が小瀬高校と図書情報館に寄贈しました。

富岡地区にある株式会社ナカミチは、小瀬高校生がさらに活躍して全国に小瀬高校の名を広めて欲しいとの気持ちを込めてデジタルサイネージ（電子掲示板）を寄贈。生徒会長の小野瀬陽香さんは「デジタルサイネージで生徒の活動の様子を映し出すなどして、たくさんの人に小瀬高校の良さを伝えたい」

とお礼を述べました。

石沢地区にある有限会社エーアンドアイは、子育て支援に貢献したいとの思いから、図書情報館に丸テーブル1台と子供用椅子3脚を寄贈しました。これらは、図書情報館内の児童コーナーに設置されています。かわいらしい机と椅子で、お子さんと一緒に絵本や紙芝居などお話の世界を楽しんではいかがでしょうか。



▲左から常井安文校長、北島則之支店長、小野瀬陽香さん、中道弘孝・まり子夫妻



▲左から北島則之支店長、萩谷公康さん、茅根正憲教育長

11/6.13.20 市民大学講座

令和元年度前期市民大学講座を市文化センターで開催しました。テーマは「私たちの消費の先にあるもの—ファッションから見る持続可能な生産と消費—」と題して、茨城大学人文社会科学部の長田華子准教授をお迎えし、ファストファッションや消費活動、バン格拉デシュや日本国内の縫製工場の現状、ジェンダー視点から考える持続可能な生産と消費などについて講義が行われました。

受講者からは「講座を受け、安い衣料品の背景を知り、消費についてこれから考えていきたいと思った」などの感想がありました。



▲熱心に受講していました

12/1 行政相談のPR活動

常陸大宮市行政相談委員が、ショッピングセンターピサーロで行政相談のPR活動を行いました。行政相談についてのチラシ配布や、市民の困りごとに耳を傾けるなど、熱心に活動を行いました。

行政相談とは、日々の生活の中での困りごとを、行政相談委員が身近な相談相手としてお聞きするものです。道路や側溝の補修などのご相談はもちろん、どこに相談していいかわからないという方もお気軽にご相談ください。



▲お気軽に行政相談委員へご相談ください

12/1 きらきらステーション点灯

今年も、「きらきらステーション～サンタの里からプレゼント～」点灯式が開催されました。

JR水郡線山方宿駅から神奉地児童公園までをLEDライトで飾り、夕暮れの中でのイルミネーション点灯時には、幻想的な光に包まれました。オープニングセレモニー後に行われたミニライブでは、山方保育所、野上保育園など多くの出演者が会場を盛り上げました。来場した子供たちには、サンタクロースからプレゼントが配られ、笑顔と喜びが溢れていました。イルミネーションは、2月29日まで点灯していますので、ぜひご覧ください。



▲かわいいサンタさんたち！

12/7 御前山サイクリングフェスティバル

御前山ダムを活用した新たな観光資源としてサイクリングに注目し、御前山ダム周辺で御前山サイクリングフェスティバル（主催：御前山サイクリングフェスティバル実行委員会）が開催されました。ソロやチームなど99人のエントリーがあり、御前山ダムを周回するコース（6.1km）をサイクリストたちは思い思いのペースで走りました。また、チェックポイントとなったダム駐車場では、御前山ダム環境センターの皆さんによるとん汁の無料提供や地元グルメなどをふるまい、参加者はサイクリングやグルメを楽しんでいました。



▲よーい！スタート！

11/30-12/1 常陸秋そばフェア in 道の駅常陸大宮

常陸秋そばフェア in 道の駅常陸大宮のイベントが2日間に渡って開催されました。このイベントは、茨城県のブランド品種である「常陸秋そば」のPRを目的として行われ、今年度で4回目を迎えました。

当日は、都内有名そば店3店が出店し、そばの実演販売や、店主によるステージでのそば打ち実演が行われました。また、地元そばの会も4団体が出店し、温かいけんちゃんそば等の販売を行いました。来場者はいくつかのお店を回り、そばの食べ比べをしていました。



▲美味しいお蕎麦がズラリ

2日目には、常陸大宮大使でもある「テツ and トモ」が出演し、台風被害を受けた本市を元気づけようと、楽しいステージでイベントを盛り上げてくれました。ステージ終了後は、写真撮影にも気軽に応じ、来場者の多くと一緒に写真を撮ろうと長い行列を作っていました。

また、12月2日～15日にはレストラン常陸亭で、そばの期間限定メニューを提供しました。地元産の食材をふんだんに使った限定メニューを求め、レストランは毎日多くの来場者でにぎわっていました。



▲テツ and トモのステージ

12/3.10 季節にそった過ごし方 陰陽ヨガと薬膳教室（冬編）

【陰陽ヨガ】

3回目の開催となる冬編は、沢山の方にご参加いただきました。健康のために運動したいけれど、身体を動かす習慣がなかったり、方法が分からない人もいるかもしれません。この講座では、日々の生活に取り入れやすい簡単なヨガを紹介しています。冬は特に寒さ対策が必要な季節です。足先から丁寧に動かし、血液の巡りを良くしていきました。ヨガ終了後には身体がポカポカになり、効果を実感して頂けたようです。



▲体がすっきり！

【薬膳教室】

冬におすすめしたい食材や心がけたい過ごし方があります。冬に弱りやすい腎の機能を高めてくれる食材を使って、「黒豆生姜じゃこごはん」「海老蒺藜水餃子」「リンゴのソテーシナモン風味」を作りました。どの食材も身近で簡単に手に入るものばかりです。皆さんからの質問、アイデアもたくさん出て、充実した薬膳教室となりました。

春編の募集は1月27日発行のお知らせ版に掲載しますので、ぜひご参加ください。



▲美味しそう！

12/7

常陸大宮市のお宝発見ツアー2019

常陸大宮市の第4回お宝発見ツアー2019に、市内の小学4年生から6年生19人が参加しました。

今回は、森と地域の調和を考える会と美和木材協同組合の協力のもと、美和地域で体験活動を行いました。

午前は、樹齢30年のヒノキの間伐に挑戦しました。木の根元に「受け口」、「追い口」という2つの切り込みを入れることで、木を狙った方向に倒すことを学びました。実際にのこぎりで切れ込みをつくったら、みんなで力を合わせてロープを引っ張り大きな木を倒すことができました。のこぎりで切る作業は大変でしたが、木が倒れたときには児童たちから大きな歓声が上がりました。



▲真剣に作業しました

午後は、高部宿の町並み散策を行いました。有形文化財になっている間宮家住宅、偕楽園の好文亭を模して作られた岡山家の喜雨亭、そして隣接する庭園「養浩園」など、歴史ある建物をゆっくり見ることができました。児童からは、「こんなにすごいものがあることを初めて知った」「今度は家族と見に来たい」との感想がありました。

今回の貴重な体験によって、山林についての理解を深め、歴史ある故郷の素晴らしさを学ぶことができました。

子どもふれあい隊の声



茨城大学2年 海老原 晴輝

今回の体験で僕も多くを学びました。間伐の重要さやその作業の大変さを子供たちと一緒に実感し、美和地域の素敵などところをたくさん知ることができました。常陸大宮市の「お宝」をいっぱい発見できました！

12/15 アップライトピアノが寄贈されました

「みんなのピアノを贈る会」(高村惣一会長)から、道の駅常陸大宮〜かわプラザ〜で行われる各種イベント等でのにぎわいの創出に役立ててほしいと、アップライトピアノが市へ寄贈されました。会では、使われなくなったピアノの有効活用の呼びかけ、施設への贈呈、ボランティア演奏などを行っています。

寄贈にあたって、みんなのピアノを贈る会の皆さんによる演奏会が行われ、美しい音色と歌声が披露されました。



▲素晴らしい演奏と歌声でした

12/15 国際交流フェスティバル

第10回国際交流フェスティバル～出会い・ふれあい・10周年～(主催：市国際交流協会)が多くの来場者のもと盛会に開催されました。ステージ発表は、海外出身者の楽器演奏や舞踊、子供達による太鼓演奏や空手など盛りだくさんの内容でした。また、展示ブースでは過去のフェスティバルの写真などが展示されました。記念すべき第10回目も海外出身者と市民の交流を深める素晴らしいフェスティバルになりました。



▲全員で記念撮影

令和元年第4回常陸大宮市議会定例会が開会されました。この定例会では、次の議案（市長提出議案）の審議が行われ、それぞれ可決及び同意されました。

条 例

- 常陸大宮市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
- 常陸大宮市立認定こども園の設置及び管理に関する条例
- 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- 常陸大宮市職員の給与に関する条例及び常陸大宮市上下水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
- 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 常陸大宮市職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市税条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市市営住宅条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市上水道事業給水条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

令和元年度補正予算

- 常陸大宮市一般会計補正予算・特別会計（4会計）補正予算・上水道事業会計補正予算・下水道事業会計補正予算

その他

- 工事請負契約の締結について
新学校給食センター建設工事（厨房設備工事）
- 字の区域の変更について
- 指定管理者の指定について
やまがたすこやかランド三太の湯、ごぜんやま温泉保養センター四季彩館、美和ささの湯、常陸大宮市文化センター
- 市道路線の認定について
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
鈴木 泰全さん
- 教育委員会委員の任命について
橋本 勇夫さん

地域おこし協力隊

がゆく



▲箱わな

地域活性化担当の松原功です。
11月から狩猟期間に入りました。市内ではイノシシの目撃情報等より耳にするようになりました。私自身も現在の住まいで、イノシシの成獣とウリ坊合わせて7頭を確認しました。玄関や庭先等、敷地内のいたるところを毎晩のように掘り起こしているの、いつ鉢合わせになってもおかしくありません。山から下りてきてもらわないようにするのが一番ですが、怖い思いをしないためにも、自分自身でイノシシ対策を考えていく必要があります。そのため今年度もイノシシ捕獲のために様々な準備を行っています。その中でも重要なのが「箱わな」の設置です。常陸大宮市では箱わなの貸出しを行っていて、鳥獣被害対策にも効果が期待されています。箱わなは高価なものなので、私も非常に助かっています。

今回お借りした箱わなは、組み立て式です。1基あたりの総重量は約120kg。ひとりでの組み立ては危険を伴うので、地域の方と古澤隊員に協力していただき、無事に組立・設置を終えました。捕獲も重要ですが、人里を餌場と認識させないことも同様に大切であるという話も伺いました。家の敷地内には柿の木があるので柿や他に食べ物になりそうなものをあらかじめ片づけたりもしています。大変なことは多いですが、人もイノシシも暮らしやすい地域になるにはどうしたらよいただろうと考えながら取り組んでいます。警戒心が非常に強いイノシシを箱わなで捕獲することは、かなりの技術と忍耐力が必要になります。この冬、イノシシとの知恵比べはまだまだ続きます。

青少年をたたえる市民のつどい

緒川総合センターで第15回青少年をたたえる市民のつどいが開催され、善行青少年や青少年の健全育成に尽力された方などが表彰されました。

また、児童・生徒の優秀賞受賞者による作文発表が行われました。アトラクションとして、緒川げんき保育園 & 緒川げんき太鼓クラブ、緒川弥七太鼓の演奏が披露されました。

【青少年の主張作文入賞者】

(敬称略)

小学校の部

賞	氏名	学校名	学年	題名
優秀賞	小野瀬 香穂	大賀小	6	「いのち」にやさしい社会へ
	小 船 慶子	美和小	6	友達へ「ありがとう」
	砂 川 朝陽	大宮小	6	夢に向かって
	森 嶋 美滯	緒川小	6	お年寄りの車の運転で思うこと
会長奨励賞	小 野 陽桜加	御前山小	6	「思いやり」が大切
	小野瀬 愛梨	山方小	6	地域のための取り組みを通して
	柏 蓮太郎	村田小	6	ゲームと約束
	沢 畑 心遥	大宮西小	5	みんなの支え
	鈴木 敬也	山方南小	6	剣道から学んだこと
	藤 田 凜寿	上野小	6	体の不自由な人の生活について
	星 歩花	大宮北小	6	ふれあいの船での体験から考えたこと

中学校の部

賞	氏名	学校名	学年	題名
優秀賞	中 崎 優衣	大宮中	2	高齢化社会を生きる
	引 田 彩音	第二中	3	未来を守るために
会長奨励賞	海老根 ひなた	山方中	2	努力すること
	長 山 倅汰	明峰中	3	「人生の合言葉」



【善行青少年表彰者】

区分	氏名					
高校生(高校生会) 3年	大畑 葵	桐原 一馬	黒羽 浩太郎	蒔 日向子	清水 陽輝	長山 春菜
	常陸大宮市高校生会員として、奉仕の精神をもって、成人式やあきない祭などのボランティア活動を行った。特に、北海道ふれあいの船事業にボランティアとして参加し、グループの指導者や他のボランティアと協力しあい、5日間にわたる体験学習の支援を行った。					
小瀬高校3年	小林 美緒	学校から帰宅途中のバスから降りた際、歩道に運動着が落ちていた。最初、名前が書いてあったため、小学校に電話しようと思ったが、本人が取りに来てくれそうと思ったこと、雨の予報だったため、屋根のあるバス停のベンチに「ここに置いていきます」というメモと一緒に残した。その後、保護者から学校に感謝の電話があった。				
明峰中学校		以前から野球部が中心となり、学校の登校坂を自主的に清掃している。特に本年度に入ってから毎朝行っており、現在では、野球部員以外でも率先して取り組む生徒が増えている。中学校周辺には、他の施設もあり、地域からもとても感謝されている。				

【青少年健全育成表彰者】

支部	氏名	表彰内容
大宮	菊池 愛夏	高校時代より、青少年育成常陸大宮市民会議大宮支部事業ファミリープロジェクトに自主的にボランティアとして参加し、小学生達に集団でのマナー、事故のないよう指導等を行い、支部活動に貢献している。また、その他の部会(広報)にも人手が足りない時、積極的に手伝っている。
大宮	佐藤 方子	15年間の長年にわたり、地域住民の一人として南町村田踏切で子供達にあいさつ・声掛けを行い、安心・安全に登下校できるように立哨指導しているとともに、常陸大宮市のボランティア連絡協議会に所属し、各種行事に参加し青少年の非行防止に多大な貢献をしており、現在も活動を継続している。
大宮	(株)栄光商事	13年間に亘り、青少年育成常陸大宮市民会議大宮支部活動の趣旨を理解し、支部内全域で行うクリーン作戦で小学生・保護者・推進委員が集めたゴミの収集・処分をボランティアとして行っている。また、自社でも社員一丸となり、15年以上子供達が気持ち良く登校できるよう道路等のゴミ拾いを実施し、社会美化に多大なる貢献をしている。
御前山	御前山地域 子どもの安全を守る連絡協議会	栃木小1女児殺害事件を契機に、小中学校の見守りを続けてきた。現在はバス停を中心に帰宅が1人になってしまう子供の見守り活動を行っている。また、不審者対応等の訓練など学校行事への協力も積極的に行っているとともに、学校や警察と協力して危険な場所や情報を共有し、子供の安全の確保に努めている。



大会名：第16回常陸大宮市民卓球大会

開催日：令和元年11月23日（土）

主催：市卓球連盟（後藤則明会長）

会場：西部総合公園体育館

参加人数：156人

団体の部

- 優勝 球友クラブ Jr A
- 準優勝 美和卓球クラブ A
- 第3位 球友クラブ Jr B
- 第3位 美和卓球クラブ B

一般男子の部

- 優勝 飯村 旬希 (OverLimit)
- 準優勝 橘 啓介 (球友クラブ Jr)
- 第3位 志賀 佑紀 (大宮中職員)
- 第3位 小堀 健太 (美和卓球クラブ)

一般女子の部

- 優勝 関澤 里菜 (球友クラブ Jr)
- 準優勝 小田 菜月 (OverLimit)
- 第3位 菊池 結愛 (球友クラブ Jr)

中学一年男子の部

- 優勝 関澤 遼太 (球友クラブ Jr)
- 準優勝 薄井 勇輝 (明峰中学校)
- 第3位 益子 龍飛 (山方中学校)
- 第3位 金子 大真 (山方中学校)

中学二年男子の部

- 優勝 矢部 晋之介 (OverLimit)
- 準優勝 箕川 真聖 (大宮中学校)
- 第3位 増子 和希 (山方中学校)
- 第3位 佐藤 隼斗 (山方中学校)

中学女子（一位リーグ）の部

- 優勝 小坏 美月 (OverLimit)
- 準優勝 尾嶋 なな (OverLimit)
- 第3位 富山 結衣 (球友クラブ Jr)
- 第3位 三村 花愛 (OverLimit)

中学女子（二位リーグ）の部

- 優勝 岡山 実央 (美和卓球クラブ)
- 準優勝 田尻 はな (OverLimit)
- 第3位 高安 彩花 (OverLimit)
- 第3位 木村 千空 (山方クラブ)

大会名：常陸大宮市長杯

第4回東日本少年剣道錬成大会

開催日：令和元年11月17日（日）

主催：常陸大宮市長杯東日本少年剣道錬成大会実行委員会・（一財）常陸大宮市体育協会・常陸大宮市剣道連盟・茨城新聞社

主管：常陸大宮市剣道連盟

会場：西部総合公園体育館

小学生低学年の部（82チーム）

- 優勝 芳明館（茨城県）
- 準優勝 ジャクパ剣志館（東京都）
- 第3位 結城尚武館（茨城県）
- 第3位 いばらき少年剣友会（茨城県）

小学生の部（79チーム）

- 優勝 芳明館（茨城県）
- 準優勝 下館士徳会（茨城県）
- 第3位 一心院道場（茨城県）
- 第3位 東松館道場（東京都）

中学生女子の部（59チーム）

- 優勝 守谷市立守谷中学校（茨城県）
- 準優勝 芳明館（茨城県）
- 第3位 錬武館（栃木県）
- 第3位 大子町立大子中学校（茨城県）

中学生の部（77チーム）

- 優勝 いばらき少年剣友会（茨城県）
- 準優勝 芳明館（茨城県）
- 第3位 錬武館（栃木県）
- 第3位 東松館道場（東京都）

大会名：令和元年度

第29回ママさんバレーボール大会

開催日：令和元年11月24日（日）

主催：市バレーボール連盟（小野政樹会長）

会場：西部総合公園体育館

参加チーム：4チーム

優勝 泉バレーボールクラブ

準優勝 盛和球友クラブ

茨城県民駅伝競走大会

12月7日（土）、ひたちなか市の笠松運動公園にて第36回茨城県民駅伝競走大会が開催されました。市町村対抗の部（1人3kmで7区間）へ出場した常陸大宮市チームは、1時間12分17秒の過去最高タイムで、6位入賞を収めました。中学生・高校生・大学生・一般選手一丸となって走り切りました。

区間	第1区	第2区	第3区	第4区	第5区	第6区	第7区
選手	河野 世寿	畑岡 葵樺	小松 裕大朗	高村 稜花	鈴木 龍生	木村 世奈	野上 蓮
記録	9:32	12:23	9:11	11:05	9:45	11:23	8:58



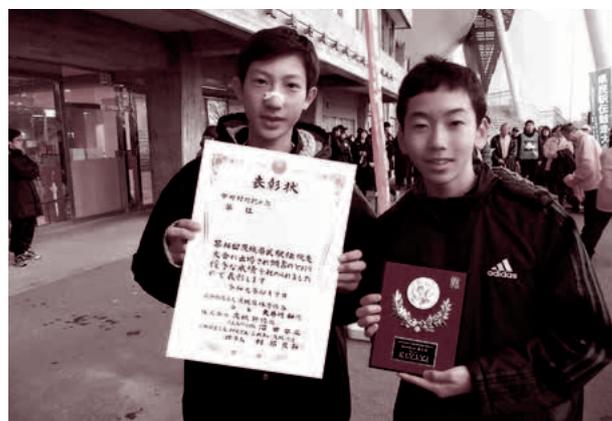
▲ 2区畑岡葵樺選手から3区小松裕大朗選手へたすき渡し



▲ 4区4位の快走を見せた高村稜花選手



▲ 7区2位の快走を見せた野上蓮選手



▲喜びの1区河野世寿選手（左）と5区鈴木龍生選（右）



▲常陸大宮チーム

そのほか本市から出場した駅伝チーム

職域対抗の部

（1人3kmで5区間：参加47チーム）

常陸大宮消防A（17位：54分44秒）

クラブ対抗の部

（1人3kmで5区間：参加38チーム）

大場体協（6位：53分32秒）

村石体協（31位：1時間6分07秒）

※村石体協の疋田勤選手が、11分27秒でベテラン優秀賞を受賞しました。

環境インフォメーション

ごみの野焼きは禁止されています。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、一部の例外を除き、野焼きは禁止されています。簡易焼却炉・ドラム缶などを用いた焼却も同様に禁止されています。

不法な廃棄物の焼却は直接罰を伴う規定があり、違反した場合は、5年以下の懲役または1,000万円以下の罰金に処されることがあります。

野焼きにより焼却されているものの多くは、ごみの日に適正に排出すれば回収できるものです。それらを燃やすと近隣の洗濯物が汚れるなどの被害が出るほか、有害物質が発生し、悪臭や環境汚染・健康被害の原因にもなります。さらに、火災につながる危険もありますので、絶対にやめましょう。必ず決められたごみの日に排出してください。

もし、野焼きの現場を発見した場合は、生活環境課または各支所、不法投棄110番までご連絡ください。



〈参考：政令で定められている野焼きの例外〉

- ①国または地方公共団体がその施設の管理を行うために必要な廃棄物の焼却
- ②震災・風水害・火災・凍霜害その他の災害の予防、応急対策または復旧のために必要な廃棄物の焼却
- ③風俗慣習上または宗教上の行事を行うために必要な廃棄物の焼却
- ④農業・林業または漁業を営む上にやむをえないものとして行われる廃棄物の焼却
- ⑤たき火その他日常生活を営む上で通常行われる廃棄物の焼却であって軽微なもの

※上記の例外規定に該当する場合でも、生活環境保全上の支障が生じ、苦情がある場合などは、例外扱いできないこともあるのでご注意ください。

【問い合わせ】

生活環境課 生活環境グループ ☎52-1111(内線123)

地域創生部各支所 山方☎57-2121 美和☎58-2111 緒川☎56-2111 御前山☎55-2111

不法投棄110番 ☎0120-536-380

善意をありがとう

〈大賀保育所へ〉



戸ヤクルト販売株式会社様 ベビーベッド一式ほか
10万円相当

広報常陸大宮・ホームページ 掲載広告募集中!

【広報紙】 半枠(45mm × 85mm)
全枠(45mm × 175mm)

【ホームページ】 バナー広告

*詳しくはホームページをご覧ください。本庁
秘書広聴課 (☎ 52-1111 内線 307、312) ま
でお問い合わせください。

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

教育長賞

優秀な成績を収めた生徒に茅根教育長より教育長賞が贈られました。(敬称略)

【茨城県中学校新人体育大会】



茨城県中学校新人体育大会卓球の部
団体の部
優勝 大宮中学校女子卓球部
女子シングルの部
第2位 大宮中学校 関澤 里菜



茨城県中学校新人体育大会卓球の部
団体の部
第5位 大宮中学校男子卓球部
男子シングルの部
第1位 大宮中学校 飯村 旬希

【市小学校陸上競技会で大会新記録】



【男子4×100メートルリレー】

山方南小 木村 光汰・清水 好誠
鈴木 康介・後藤 陽心
記録55秒10(手動)

緒川小 川上 天翔・小林 海斗
粟名 蓮・伊坂 勁飛
記録55秒60(手動)



【男子1500メートル】

大賀小 横山 来夢 記録4分54秒00
山方小 木村 祐介 記録4分54秒10

【女子1000メートル】

山方小 坏 知世 記録3分17秒60

【女子80メートルハードル】

緒川小 上久保 真奈 記録14秒60(手動)

【男子ボールスロー】

大宮西小 坂本 大雅 記録64m40

【女子ボールスロー】

山方小 大賀 凜音 記録46m91

【男子80メートルハードル】

山方南小 棚谷 心翔 記録13秒60(手動)
緒川小 粟名 蓮 記録14秒10(手動)
上野小 小原 将義 記録14秒30(手動)

食改レシピ Vol.15

平成30年度ヘルシーメニューコンクールの副菜部門で、優秀賞を獲得したレシピです。

1人分 栄養成分	エネルギー	食塩相当量
	94kcal	0.5g

《材料》1人分

れんこん	40 g
薄力粉	3 g
ピーマン	10 g
玉ねぎ	15 g
ミニトマト	15 g
水	30ml
ケチャップ	10 g
ピザ用チーズ	7 g
オリーブオイル	1 g

パリッ！とレンコンピザ



《作り方》

- ①れんこんは薄く輪切りにし、薄力粉をまぶしておく。
- ②ピーマンは薄く輪切り、玉ねぎは薄切り、ミニトマトは4分の1の大きさに切る。
- ③フライパンにオリーブオイルを入れ温まったら、れんこんを円形に並べる。水を加えてふたをし、蒸し焼きにする。
- ④適宜ふたを開け、れんこんの重なっている部分がくっいたら、れんこんをひっくり返し、焼き目がつくまで焼く。
- ⑤④のフライパンの端の方で、玉ねぎはきつね色になるまで焼き、ピーマンは軽く炒めておく。
- ⑥れんこんにケチャップを塗り、その上に⑤の玉ねぎとピーマンをのせ、ミニトマトものせる。
- ⑦ピザ用チーズをまんべんなく振りかけ、ふたをし、チーズが溶けるまで加熱し、お皿に盛り付ける。

ひたまる先生を紹介します vol.27



漆芸講座・手漉き和紙、紙に関する講座をしている菊池三千春です。
私は常陸大宮市の伝統産業の「西の内和紙」「奥久慈漆」の啓発の一助として体験指導・講座などを実施しています。
漆芸品講座ではYUS山方漆ソサエティー会員が漆塗り体験希望者に対し、拭き漆を主とした指導をしています。手漉き和紙、紙に関する講座では、西の内和紙の手漉き方法の指導や紙に関する歴史講座を行っています。
簡便な方法の「ものづくり」が多い現代ですが、手間を惜しまぬ伝統技術に興味をお持ちの方大歓迎です。
■問い合わせ■ 57-3232

本年度新規採用職員を紹介します



東消防署の山本正樹です。
半年間の消防学校生活を終え、東消防署へ勤務し日々の業務にやりがいを実感しています。火災や救急、救助といったさまざまな災害に備え、訓練を怠らず市民の皆さんの安心、安全を守るよう、諸先輩方のような消防士になれるよう日々頑張りたいと思います。



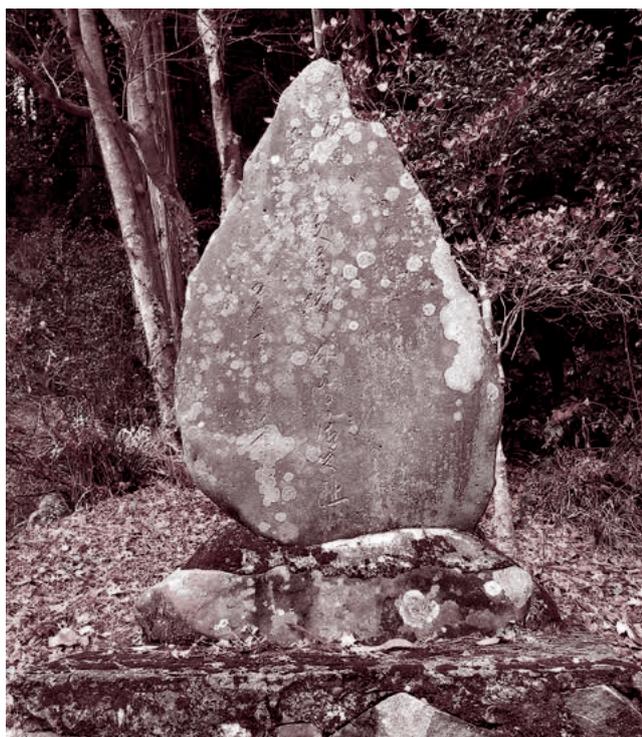
東消防署の鈴木浩太です。
私は今、消防学校を卒業し、東署に配属され数か月が経ち、人の命に携わる仕事の大変さとやりがいを感じています。日々訓練や勉学に励み、誰からも信頼される消防士になれるよう頑張ります。

海後磋磯之介、明治に死す（上）

明治36年（1903）5月17日早朝、水戸市天王町で一人の「幕末の志士」が息を引き取りました（享年76）。彼の名は海後宗親（通称は磋磯之介）。

安政7年（1860）3月3日、時の幕府大老・井伊直弼を襲撃（桜田門外の変）した水戸脱藩士ら18人のうちの一人にして、事件後も生きのびた2人のうちの一人です。

この磋磯之介の数奇な生涯に注目したのが、文豪吉川英治でした。小説『旗岡巡査』（『週刊朝日』昭和12年〈1937〉初夏特別号）は、桜田事件後、下総松戸の醤油船に匿われ、船主権十とその娘お松の機転に助けられた磋磯之介が、烏山近くの実兄高野糸之介宅（現常陸大宮市小田野）とその裏山に潜伏するが、そこで恋仲のお那珂との別れを経験する、明治9年（1876）、「旗岡剛蔵」と名を変え、茨城県の結城警察署に勤務する磋磯之介は、派遣先の横浜・異人屋敷で殺人事件に遭遇する、男を殺した元花魁は何と約16年ぶりに邂逅した「お松」、そしてお松が殺した男の妻は、かつて恋い焦がれた「お那珂」だった…、といった内容ですが、早くも3年後の昭和15年（1940）には映画化されています。



▲海後磋磯之介潜居址（小田野地区）



石井 裕 氏
近現代史部会専門調査員
茨城県立歴史館主任研究員

映画『旗岡巡査』（牛原虚彦監督、依田義賢脚本）は、松戸の船主権十が磋磯之介を密告しようとし、また磋磯之介を助けようとした「お松」が旧彦根藩士渡辺幾三郎の妾となって現れ、「先君の仇」と磋磯之介に斬ってかかる渡辺をピストルで撃ち殺した、などと随所に脚色がなされ、この映画は「本年度のベスト・スリーとなろう」（『キネマ旬報』709号、1940年3月）と、高い評価を得ました。映画の反響もあったのか、翌年、磋磯之介の潜伏先である高野家に、記念碑「海後磋磯之介潜居跡」が建立されています。

旧彦根藩士の復讐をおそれ、明治を変名で生きた、というあたりは、まるで映画『柘榴坂の仇討』（若松節朗監督、2014年公開、浅田次郎原作）を思わせるような展開ですね。では、明治を生きた磋磯之介の実際の姿は、どのようなものだったのでしょうか？

（次号につづく）



▲旗岡巡査（広告）

■問い合わせ■

文化スポーツ課

文化・スポーツグループ ☎52-1111(内線344)

小児の胃腸炎について (ロタウイルス感染症を中心に)



常陸大宮済生会病院 小児科医員 吉川 亜佐子

胃腸炎はウイルスや細菌などの感染により、胃や腸の働きが低下し、嘔吐、下痢、腹痛、発熱などの症状が起こる病気です。冬場は胃腸炎が流行しやすく、小児科でもこのような症状で受診される患者様が増えています。

冬場の胃腸炎の原因としてはノロウイルスやロタウイルスが多いです。特にロタウイルスは乳幼児期(0~6歳)での発症率が高く、米のとぎ汁のような白色の下痢便が特徴です。他のウイルス性胃腸炎に比べ下痢や嘔吐の症状が激しく、重症化しやすい傾向があります。また、ロタウイルスでは反復性痙攣や脳炎などの重症合併症を来すこともあります。国内でのウイルス性脳炎として、ロタウイルスによるものは3番目に多く、年間約40例が報告されています。そのうち約15%が死亡、約25%は後遺症を残し、インフルエンザ脳炎よりも予後は悪い傾向にあります。

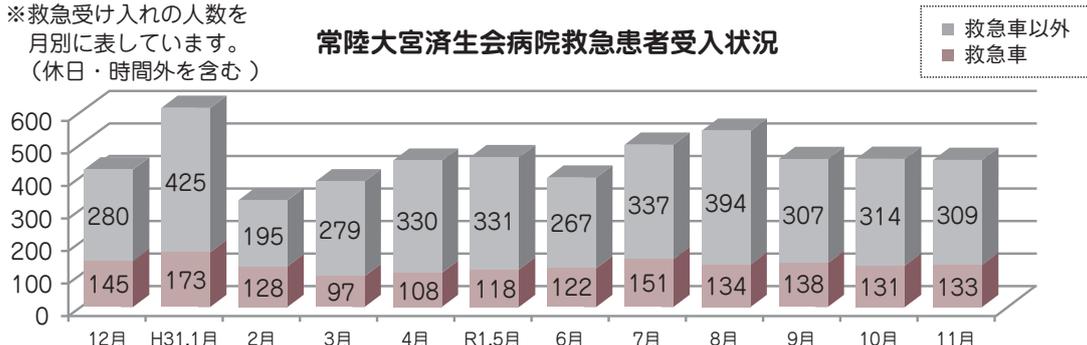


子供の嘔吐や下痢で圧倒的に多いのは胃腸炎ですが、まれに腸閉塞や腸重積、虫垂炎などの重大な病気が隠れていることがあります。便に血が混じる、吐物が黄色や緑色、一定の間隔をあけて繰り返し激しい痛みを訴えたり大泣きしたりする…などの場合は胃腸炎以外の疾患である可能性が高いため、すぐに医療機関を受診しましょう。

胃腸炎で一番懸念されるのは脱水ですが、脱水に陥ると、「泣いても涙が出ない」「尿量が減る」などのサインが現れます。嘔吐や下痢などの症状が見られたら、脱水のサインが現れる前に早めに水分摂取をするようにしてください。ただし、嘔吐をした直後は飲食はせず、1~2時間おいてから水分摂取を始めるようにしましょう。この際の重要なポイントは「少量頻回」の水分摂取です。具体的な飲ませ方としては、1回にティースプーン1杯の量が目安です。乳児の場合、母乳やミルクは消化が良いので与えて頂いて構いませんが、少しずつあげることを心がけてください。離乳期以降であれば市販の経口補水液(OS-1やアクアライトORS)を少しずつ飲ませてあげてください。このような方法でも水分摂取が難しいようであれば点滴での水分補給が必要になりますので、無理せずに医療機関を受診してください。

※救急受け入れの人数を
月別に表しています。
(休日・時間外を含む)

常陸大宮済生会病院救急患者受入状況



旧塩田小の経済門

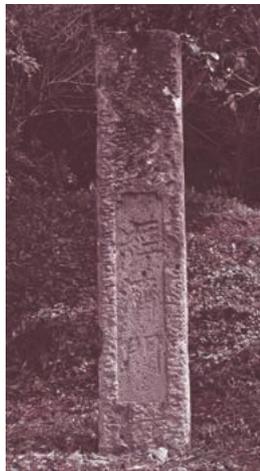
文書館は、平成22年に閉校した旧塩田小学校を改修し、利用しています。玄関近くに「経済門」と彫られた石碑があり、多くの来館者が目をとめます。いったいどんな由緒を持つものなのでしょうか。

◇学校時代から存在

石碑は高さが194cm、幅38.5cm、奥行が25.5cmの石柱状で、塩田地区で産出する白谷石で作られています。表面に「経済門」と刻まれていて、ほかには刻銘はなく、年代は不明です。

地元の方のお話しによれば、かつての正門にはこの経済門と「道德門」と刻まれた石柱が一对で置かれていたそうですが、いつ建てられたものかはわかりませんでした。校舎の建て替えや配置替えの際に、いつの頃か道德門は失われてしまったようです。

昭和24年から38年にかけて塩田小学校の教員だった鳥喰唯然さんは、当時の古老から、経済門と道德門は二宮尊徳の教えを取り入れたものだったことを教えられました。



▲経済門

◇報徳思想の広がり

二宮尊徳は、かつてはどの学校にもみられた、薪を背負って勉学に励む少年の像のモデル、二宮金次郎のことです。

二宮尊徳（1787—1856）は江戸時代後半に小田原近くの村で生まれました。家は裕福でしたが災害による減収などが原因で徐々に没落していき、両親を失ってからは伯父の家に居候して農作業に励みました。尊徳は、厳しい労働の中でも学問を怠らず、儉約と勤労でついに生家の復興にこぎつけました。これをみた小田原藩や幕府では、荒廃した領地の復興を尊徳に託しました。小田原藩家老服部家の財政再建や下野国桜町領（栃木県真岡市）、次いで烏山や日光領などの復興に弟子とともに携わり、そのさなかに今市（栃木県日光市）で生涯を終えました。

尊徳の教えは弟子の富田高慶により安政3年（1856）に『報徳記』としてまとめられ広まりま

した。そこには「至誠」、「勤勞」、「分度」（自分の置かれた状況や立場、収入に応じた生活をする）、「推讓」（余剰を何かのために貯めておくことや他人や社会のために譲ったりすること）といった教えが、具体例を挙げながら庶民にもわかりやすく説かれました。与えられた環境のなかで努力して成果を挙げようという尊徳の思想は国家にも大いに受け入れられ、明治政府は報徳思想の普及やそれを推進する報徳社の運動を後押ししました。そのような運動の中で、困窮する農民の救済のために「経済」と「道德」の調和が重要であると説かれました。「経済門」と「道德門」はこの思想のシンボルとして作られました。

報徳運動は教育現場にも取り入れられました。尊徳は、明治37年の国定教科書に登場して以来、勤儉や精励を体現する人物として、敗戦まで多くの教科書に掲載されました。明治37年から大正6年までの塩田小学校の記録である『塩田尋常高等小学校学校沿革史』（大宮北小学校蔵）には、明治43年2月12日付の行事として「報徳ノ講話ヲ開ク」とあり、同日に「報徳文庫ヲ設ク」とあります。また別のページには「経済重要。山、田、推讓美風。益々経済ニ支配サレ生活難トナル」など講演会の聴講メモと思われる記述もあります。この時期に報徳の精神を醸成するための講演会や関連図書の整備が行われたことがわかります。これらの一環として、経済門が設置されたのでしょうか。

現在も報徳運動の中心として活動している大日本報徳社（掛川市）には明治期建立の経済門と道德門があります。塩田小学校にもこのような一对が存在していたのでしょうか。



大日本報徳社の経済門と道德門（写真提供大日本報徳社）
大日本報徳社、鳥喰唯然さんにご協力をいただきました。

■問い合わせ■ 文書館 ☎52-0571

常陸大宮市女性防火クラブ連絡協議会設立20周年記念式典

12月4日、市文化センターロゼホールで、常陸大宮市女性防火クラブ連絡協議会設立20周年記念式典が開催されました。市内外から関係者などが集まり、三次真一郎市長による特別講演をはじめ、大宮聖愛・聖慈保育園児のカラーガードとパラバルーン演技や小瀬高校生徒による花いけバトルのアトラクションも披露されました。



▲女性防火クラブ連絡協議会三次雅子会長挨拶



▲市長表彰で個人功勞を受けた諸澤信子さん



▲市長表彰で感謝状を受けた皆さん



▲特別講演をする三次真一郎市長



▲大宮聖愛・聖慈保育園児のカラーガードとパラバルーン演技



▲小瀬高校生徒による花いけバトル



第3回子どもメディカルラリーを開催しました

12月7日、当消防本部で市内の小・中学生が参加している「救急医学と健康講座」の受講者を対象に、第3回子どもメディカルラリーが開催されました。さまざまな想定の中で通報や応急処置などを行うシナリオステーション、消火器や煙体験などを体験できるサービスステーションからなる合計8ブースがあり、講座で学んだ内容（119番通報や外傷処置、胸骨圧迫、AEDの使用など）をもとに、11チームに分かれて実施しました。

子どもメディカルラリーとは

怪我をしている人や倒れている人に対して、子供たちだけで考えて119番通報や適切な処置などを行うコンテストです。



▲症状など必要な情報を収集



▲心肺蘇生法もお手のもの



▲チョークサインを見逃さない



▲まずは意識の確認



▲的確かつ迅速に119番通報をする



▲ケガ人に対して応急処置



▲消火器などの体験ブース



▲これは何の機械かな？



▲みんなよく頑張りました！

■問い合わせ■ 消防本部 ☎54-0119

御前山ビオトープ周辺の植物等

山野のやや湿った沢沿いなどに生育しています。花は葉が伸び始めたころに咲きますがおす株とめす株は別株です。葉の付き方に特徴があり、枝の同じ側に2枚ついてから、反対側に2枚続けてつくという独特の付き方をします。名前は枝や葉に強い臭いがあり、クマツヅラ科のクサギより樹や葉が小さいことによるといわれています。



(ミカン科 コクサギ属)
(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

12/26 「硬玉製大珠」が県指定文化財に!

下村田地区の坪井上遺跡から出土した硬玉製大珠7点が、今年度、県有形文化財に指定されました。「硬玉」とはヒスイのこと。新潟県糸魚川市が原産地で、当時の流通を示す重要な品です。「大珠」の名のとおり、7cm～11cmと、とても大きなもので、当時の威信財（権威や権力を示す宝物）であったと考えられています。一つの遺跡から複数出土することは珍しく、坪井上遺跡からの出土数8点は全国最多です（今回の指定は市所有の7点）。

また、坪井上遺跡からは新潟県の有名な^{かえん}火焰土器の仲間も出土していて、北陸方面との直接的な結びつきを示す資料として、学術的にも注目されています。



12/21 市制施行15周年記念植樹

豊島区が発祥の「ソメイヨシノ桜」を、おがわふれあいの森内にある豊島区の森に植樹しました。これは、本市が市制施行15周年を迎えたことを記念し、豊島区からソメイヨシノ桜10本が寄贈されたことによるものです。高野之夫豊島区長や染井よしの桜の里駒込協議会の皆さんと苗の植え付けをしました。豊島区とは、平成17年に「非常災害時相互応援協定」を締結したことを契機に交流がはじまりました。植樹したソメイヨシノ桜は、豊島区と本市の固い友情の証として、数年後には見事な花を咲かせてくれることでしょう。

また、この植樹にあたり市内全92区に桜の苗木を配布しました。



常陸大宮市の人口

(1月1日現在・推定常住者)

総人口 39,775人 世帯数 16,065世帯
(男 19,617人 女 20,158人)



広報 常陸大宮 1月 第185号

発行日 令和2年1月27日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

